

ICP2016 広報委員会から

あと2年後の2016年7月24日から国際心理学会 ICP2016 が横浜で開催されます。今回は、広報委員会からのお知らせとお願いをいたします。

ご存じの通り、ICP2016 のロゴ(図1)は3年前に公募で選ばれたもので、当時、千葉大学工学部デザイン学科に所属されていた瀧山愛さんが作られた、愛らしい感じのするロゴで、海外でもとても人気があります。このようなロゴやプロモーション用のPPTファイルは、ICP2016の公式ホームページ(<http://www.icp2016.jp/>)からダウンロードできますので、皆様もいろいろな国際学会で発表される折に、プレゼンテーションの最後の箇所などに貼り付けていただき、「2年後に横浜で開催！」を発信していた



図1



図2

できれば幸いです。

図2は、ICP2016の公式ホームページのトップに載せてある扇ですが、Congress Themeである Diversity in Harmony を広がる中骨と要^{かなめ}を象徴したもので、日本らしい美しさがあると、これも海外で評判です。この5月にやっとできあがったセカンドアナウンスメントにも扇のデザインが使われていますので、是非、公式ホームページからダウンロードして、皆様の国内外の研究仲間にも広くご周知いただければと存じます。

最後に、昨年11月にオープンしたICP2016公式 Facebook についてお知らせします。ホームページからもFBボタンを押せば入れますが、リンク先は<https://www.facebook.com/ICP2016>です。現在、450人以上の方が登録して最新情報を受信しています。皆様も是非「いいね！」ボタンを押して、ICP2016と繋がってください。よろしくお願ひします。

(ICP2016 広報委員長 行場次朗)

日本心理学会 若手の会から

日本心理学会に「若手の会」が誕生しました！日本心理学会は、90年近い歴史と7,000人を超す会員数を誇る巨大会ですが、意外なことに、これまで若手の会が存在していませんでした。そこで昨年、鈴木華子(筑波大学)と小川健二(北海道大学)が共同世話人となり、第77回大会にて「日本心理学会 若手の会」の発足式を行いました。そして、主に発足式に参加した大学院生から若手PIまでの12名が運営委員として集まり、活動を開始しています。

会の主な目的は、心理学に関わる若手間のネットワークを構築し、日本心理学会内外との情報交換を行うことです。それにより、若手会員相互の交流促進、研究・教育・応用水準の向上、社会貢献をめざし、若手の育成および将来の心理学の発展に寄与したいと考えています。心理学でも特定分野に関する学会の中には若手の会が既に存在している学会もありますが、本会は基礎から応用まで幅広い分野が集まる総合学会の特色を活かし、心理学全体の若手交流を促進

していく予定です。

現在、運営委員が第78回大会へ向けて企画準備をしているところです。具体的には、主催シンポジウム・ディスカッション・Pre-Opening Partyへの参加等を予定しています。特にシンポジウムは、多くの若手研究者に関係するキャリア形成をテーマに、種々の情報を提供・交換できる場にしたいと願っています。また2年後に控えたICP2016では、世界中から学生・若手研究者が日本に集まってくるので、会の活躍のチャンスだと期待しています。

参加資格は原則として、大学院修士または博士課程在学中、もしくはその修了時点から10年以内の日本心理学会会員です。心理学に関わる若手活躍の場として、皆様ぜひご参加ください！

(若手の会 共同世話人 小川健二・鈴木華子)

若手の会への参加方法：氏名、会員番号、所属、職名、メールアドレス、電話番号、最終学歴、学位取得年(在学中であれば、課程・年次)をメール本文に明記し、jpa-ecp@psych.or.jpまでお送りください。メーリングリストに登録いたします。